

ヴェルディ『レクイエム』7月公演延期

町田フィルハーモニー合唱団 安倍 武明
町田市文化国際交流財団理事

東京町田市の町田フィルハーモニー合唱団で活動しています。オーケストラと共演する合唱団で団員数は85名ほどいますが3月から全く練習ができません。公共の施設が使えないためです。いつも共演している町田フィルハーモニー交響楽団も同様です。

7/12にミュゼザ川崎でヴェルディの『レクイエム』を公演予定でしたが延期の止むなきに至りました。練習は3~4回/月ですが、予定していた指揮者、本番ソリスト、ピアニスト、ヴォイストレーナーには予定していたギャラをいくらか減額してお支払することにしました。

幹事会ではZoomを使ったオンライン会議を試用したところ実用できる事が分かったので今後はこれで行きます。また、私はドイツリートのレッスンを長いこと続けていますが、先生の発案で同じくZoomを使ってオンラインレッスンを試みました。慣れてくれば違和感が薄れ、リアルに近い充実感でした。タイムラグでピアノが遅れて聞こえますが、自分のテンポをしっかりと守れば大丈夫です。

新型コロナウイルスの終息はいつか、全く見通しがつきませんが、準備を整えてその日を迎えたいと思っています。

《歌劇 幕臣・渋沢平九郎》来年に延期

渋沢平九郎プロジェクト 齊藤 則昭

公演日2カ月前の3/23にやむなく延期を決定いたしました。先が見えない形での延期告知はしたくなかったので会場確保を最優先しました。オペラ



ということで公演に関わる人数も多かったためリスケジュールに時間を要しましたが、幸いソリストやオーケストラを含

めて多くの出演者がそのままご出演いただけることになりました。外部的にはご招待者へのお知らせ状の送付、関係各所へのご説明、ポスター・チラシ回収、広告記事の差し替え、様々な作業も発生していますがノ

記事の差し替え、チケット払い戻しなど、様々な作業も発生していますが、希望を持って手続きを進めています。

実行委員会では2021年2月6日(土)の公演に向けて再始動の日程検討などを行っています。皆で会って話しをすることができなくなりましたが、メールや電話でのやり取りを増やして意思疎通をはかったり、必要に応じてWeb会議を開催するなどしてプロジェクトとしての歩みを止めないようにしています。

公演まで時間ができたことを前向きに捉えて、これまでの取り組みの問題点などを洗い出して対応を協議し、より良いリスタートができるように準備をしているところです。ポスター・チラシなどの印刷物も全て再作成となりますが、皆様に注目していただけるようなインパクトのあるものを作りたいと思っています。

岩手県が感染者ゼロの理由…

岩手は感染者ゼロという背景もあり音楽活動は他県に比してそれなりにやられているようです。

達増拓也(たつそたくや)岩手県知事は、公衆衛生学の世界的権威ジョンズ・ホプキンス大の高等国際問題研究大学院修了という経歴を生かして対策指揮に当たっていることが、4/13現在全国で唯一県のみ感染者ゼロを維持している理由だとも言われています。

人口密度が北海道に次ぐ全国2番目の低さ、盛岡市でも人口が約30万人と3密が生じにくいことも理由ですが、隣県の青森や秋田も同様なのに感染者が発生し、増え続けていることと対照をなしています。

県では、感染症専門医による「県新型コロナウイルス感染症対策専門委員会」を設置。3/30には首都圏からの来県者に対して往来自粛を求めるだけでなく、2週間の外出自粛要請を出すなど厳しく踏み込んだ対策を取っているといえます。

また、県では「無症状の患者がいる可能性はもちろんあるが」とした上で「的確な指示のもと、やるべきことをやっている」としています。4/12現在のPCR検査数が136件と全国最少を指摘する声もありますが「専門委で1件ずつ検査の必要性を判断している。時間はかかるが、見過ごしはないと言える」と自負。音楽関係者には羨ましい環境だと思えます。いつまで「ゼロ県」を維持できるか、全国の視線を集めています。(加藤良一)